



平成 21 年 4 月 23 日

各 位

会 社 名 ダイダン株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 菅谷 節
 (コード番号：1980 東証・大証第1部)
 問合せ先 取締役常務執行役員業務本部長 多島 剛
 (TEL. 06-6447-8003)
 (URL <http://www.daidan.co.jp/>)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 2 月 9 日に公表いたしました平成 21 年 3 月期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の連結業績予想および個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせ致します。

記

(金額の単位：百万円)

1. 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	141,000	2,500	2,000	600	13.37
今回修正予想 (B)	137,000	3,000	2,700	400	8.92
増減額 (B-A)	△ 4,000	500	700	△ 200	—
増減率 (%)	△ 2.8%	20%	35%	△ 33.3%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	173,383	552	450	251	5.59

2. 平成 21 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	140,000	2,500	2,000	600	13.37
今回修正予想 (B)	136,000	3,000	2,800	500	11.15
増減額 (B-A)	△ 4,000	500	800	△ 100	—
増減率 (%)	△ 2.8%	20%	40%	△ 16.7%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	172,106	571	489	308	6.84

3. 修正の理由

(個別業績)

当社は第 2 四半期以降の円高・株安などの経済環境の急激な変化を受け、平成 21 年 2 月 9 日に業績予想修正を公表しましたが、その後の状況変化を踏まえ下記の通り予想の修正を行います。

売上高は、前回公表の 140,000 百万円から約 4,000 百万円減の 136,000 百万円となる見通しです。

利益面につきましては、売上高が、前回公表値に比し、減少するものの、売上高利益率のさらなる改善により、営業利益は、前回公表の 2,500 百万円から約 500 百万円増の 3,000 百万円となる見通しです。

経常利益は、営業利益の増加に加え、前回修正以降、為替が円安に進んだことで、主に在外支店の換算による為替差損が減少した事もあり 2,000 百万円から約 800 百万円増の 2,800 百万円となる見通しです。

当期純利益につきましては、平成 21 年 4 月 6 日「平成 21 年 3 月期第 4 四半期の投資有価証券評価損に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、第 3 四半期以降のさらなる株式相場下落により、600 百万円から 100 百万円減の 500 百万円に修正しております。

(連結業績)

売上高、営業利益につきましては、主に提出会社の個別業績修正に伴うものです。

経常利益につきましては、連結決算手続き上生じる為替差損の影響により、個別決算に比し、約 100 百万円減の 2,700 百万円となる見通しです。

当期純利益につきましては、経常利益の減額、および個別業績の修正に加え平成 21 年 2 月 9 日付けの「特別損失発生に関するお知らせ」にて公表いたしました海外事業整理損の計上に際し、連結決算手続き上生じる為替の影響によって、前回公表の 600 百万円から約 200 百万円減の 400 百万円となる見通しです。

4. 期末配当予想について

1 株当たり 11 円の期末配当につきましては、変更の予定はありません。

(注) 将来の事象に係る記述に関する注意事項

上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上